

『リーキ』栽培マニュアル

1. 品種特性

『リーキ』は、地中海原産ヨーロッパで広く栽培されている。日本には明治初期に導入。耐寒性が強く、冷涼な気候を好む。白根を食用とし、独特の甘みがあり煮込んでも煮崩れしないため、ポトフ等の煮物やフランス料理等に利用される。また、葉はスープのダシに利用される。

品 種: 『ワンダー』リーキ

耐暑性が強い。

草姿は半開張性で、葉色やや淡く、葉鞘部は太く良くのびる。

長ねぎより葉はかなり伸びる。

2. 作 型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
栽培体系				←→ 播種		←→ 定植		←→ 中耕・土寄(3回程度)				←→ 収穫

3. 育 苗

(露地育苗の方法)

育苗畑の選択... 前年ねぎ栽培無圃場 灌水可能 排水良好

目が届きやすい圃場

床苗面積...本圃 10アール当たり 0.5アール(15坪)程度必要

施肥量 0.5アール当たり

	肥料名	施肥料(現物)
基 肥	オール8	10kg
	苦土重焼燐	2kg
	消石灰	5kg
追 肥	庄内 S604	2kg

PH 6.0 ~ 6.5 が適正

肥料は、播種 1 週間以上前に施し、土となじませる。

追肥は本葉展開後、2 ~ 3 回に分けて施用する。

播種...1~2mの平畝に均一に散ばるか、条間15~20cmの条まきする。
覆土の厚さは5mm程度で、均一にする。

発芽適温は15℃。生育適温は13℃(ハウス育苗の場合、高温に注意)。

発芽を揃えるためにポリマルチや不織布をべた掛けし、全体の70%が発芽(図1)したら除去する。

発芽後、株間5cm程度に貧弱苗を間引く。

ハウス育苗の場合は、セルトレー200穴や288穴、ペーパーポット220穴等を利用する(高温注意)。

図1

4.定植

定植適期苗...本葉10葉、茎0.6~0.8cm(鉛筆の太さ)程度

大・小に選別し、葉先を切り揃えて植える(定植時ジメートエート粒)。

葉は左右の一定方向に広がるので、植付け時に苗の方向(葉身を畝に対して45度の角度に向けて植える)を揃える。

畝幅80cm位 株間10cm 深さ15cm程度

施肥

10㎡当たり

	肥料名	施肥料(現物)	摘要
基肥	完熟堆肥	2000kg	
	ねぎ専用	100kg	
	苦土重焼燐	40kg	
	消石灰	100kg	
追肥	庄内S604	100kg	2~3回に分けて

土寄せは、定植1ヶ月後から2~3回(1ヶ月ごと)実施するが、軟白部分は20cm程度確保できれば十分である(最終土寄せは収穫1ヶ月前)。

一度に多く土寄せをせず、回数を多くする方が良い。

土寄せ時は、葉の分岐部(葉と茎の間)に土が入らないようにていねいに行なう(生育停滞・腐敗等の防止)。そのため、管理機より手作業(鍬等)の方が良い。

5.防除

防除は長ねぎに準ずる。

特に、軟腐病やハモグリバエ、ネギコガ、アザミウマに注意する。

6.収穫

茎の太さが3~5cm、200~300g/本になったら収穫開始(11月頃から)。

出荷先(生協・市場)の規格に合わせて出荷調整を行なう。